

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成30年 4月17日（火）

2 調査対象 第3学年生徒 84名

3 調査内容

（1）教科に関する調査（国語A、国語B 数学A、数学B 理科）

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

国語A（主として知識に関する問題）、国語B（主として活用に関する問題）はともに、全国平均を下回りました。

数学A（主として知識に関する問題）はおおむね全国平均と同程度でした。数学B（主として活用に関する問題）は全国平均を下回りました。

理科は、全国平均を下回りました。

（2）生徒質問紙調査

成果が見られた項目

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。
- 1、2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。

課題が見られた項目

- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- 家で、学校の宿題をしていますか。
- 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では知識、活用力ともに課題が見られました。次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 主体的に学習できる授業の実施
- ・ 話し合いと発表の場の設定

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- 家庭学習について
 - ・ 家庭学習時間の確保
- 地域行事等への参加
 - ・ 多くの人とのふれあい